



▲後藤寺・弓削田地区子どもの水辺協議会での議論の様子

中元寺川に 水辺公園が整備されます

後藤寺中学校前の中元寺川河川敷に、子どもから大人までが親しめる水辺公園が整備されます。(5月末完成予定)この事業は、田川市が平成21年8月に「水辺の楽校(がっこう)」プロジェクト(国土交通省所管)の登録を受けたことから、登録者である国土交通省により整備されるものです。

今回はその整備に至るまでの地元の取り組みと具体的な整備内容について紹介します。

後藤寺・弓削田地区子どもの水辺協議会の設置

これまで、田川市内を流れる彦山川には、川渡り神幸祭の会場となる番田地区に観覧席を兼ねた「階段」や川の中を歩いて渡れる「潜り橋」、糺地区に、カヌー教室などが行える「水辺のスロープ」などが整備され、市民の憩いの場として利用されてきましたが、中元寺川には水辺に親しめる施設がありませんでした。

そこで、中元寺川を子どもから大人までが親しみ、愛着が持てる川にしようとして後藤寺校区、弓削田校区の住民で構成された「中元寺川・川づくりの会」が話し合いを重ね、それを実現するために行政(国土交通省・田川市)と協議し、「①安全で親しみやすい水辺空間、②更なる環境学習の推進、③川を拠点とした地域づくり」を目的とした「後藤寺・弓削田地区子どもの水辺協議会」が設置されました(平成20年9月)。その中で、実際に利用し、管理していく視点から様々な意見交換が行われました。

協議会の活動

まずは、既に整備された事例を見学するなどの勉強会から始まり、次にとのよな施設が必要かを具体的に検討するために、協議会主催による草刈りや、小学生を対象にしたリバースクールが行われてきました。

また、整備計画を立てる上で子どもたちの意見も取り入れようと、後藤寺小・弓削田小・後藤寺中の生徒を対象としたアンケート調査も実施しました。

基本「コンセプト」

様々な地域や年代の人々が集い、ふれあい、川を利用したスポーツが行われるなど、地域の交流拠点となるような場にするとともに、中元寺川に触れることで自然環境を学んだり、安全に水辺を散歩できるようにするために、以下のコンセプトのもと検討が行われました。

コンセプト「みんなが集まる水辺、楽しく学べる水辺、安全に歩ける水辺」

「整備内容」

協議会で話し合いを重ね、決定した整備内容は次のとおりです。

整備範囲

○中元寺川春日橋から十二祖橋上流の間
約1km

整備内容

○カヌーや川的环境学習ができる「水辺の階段」

○川のそばを散歩できる「遊歩道」

○地域のレクリエーション会場として利用できる「多目的広場」、「駐車場」

○木陰でのんびりとくつろぐことができる「ベンチ」、「植樹」

○川を渡ったり、水遊びができる「飛び石」

○夜間の防犯対策としての機能をもつ「照明灯」

整備は国土交通省遠賀川河川事務所により行われ、管理は地元住民主体となります。みなさんに親しまれる水辺公園として利用されることで、中元寺川をもっと身近に感じてもらう、水質やゴミなどの環境改善につながることを期待されています。



完成予想図